



# 学校だより 6月

“桜川 学びのエリア：桜川中・桜川小”

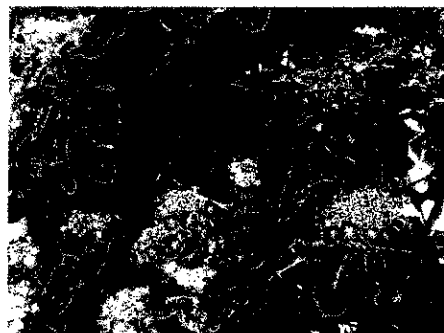
令和8年 5月 29日  
板橋区立桜川小学校  
No.3

## 心をつなぐ

校長 和田 幹夫

5月下旬は、気温差が激しく、雨の日も増えるなど不順な天候が続きました。正門近くのアジサイも紫色の花を開き始めるなど、梅雨の足音が少しずつ近づいてきているのを感じる今日この頃です。

さて、梅雨が好きだという人はあまり多くないと思います。じっとりとした蒸し暑さやどんよりとした曇り空、また、雨による災害など、私たちは、マイナスのイメージを抱きがちです。



しかし、梅雨の時期に降った雨は、私たちにとって夏の大切な水道水になります。また、この雨が水田の稲の発育を助けます。もちろん、山や野の植物や動物にとっても、恵みの水となるのは言うまでもありません。また、ザーザーという雨の音には、リラックス効果や、集中力を高める効果があるとも言われています。マイナスイメージの強い梅雨も、私たちや他の生物のためにも、なくてはならない大切な時期なのです。

私は、そんなときふと思います。私たちは、梅雨に対する見方と同じように、まわりの人々や、物事に対して、一方的な見方や、先入観をもった考え方をしていないか。子供たちにも、いろいろな視点から人のよさを捉えたり、いろいろな観点から物事を考えたりすることの大切さを、私たち大人も子どもと共に見つめ直していきたいと思います。

そのために大切なのは、やはり人との「かかわり」だと思います。そして、そのかかわりをつくり、深めていく「ことば」だと思います。

5月18日は「ことばの日」でした。5、10、8で、語呂合わせで「ことば」とも読めます。また、5月は新緑の季節、木々の「葉」にちなんでこの日に制定されたとも言われています。この日の全校朝会で、私は自分が大切にしている言葉について話をしました。それは、「あいさつ」です。あいさつは、とても短い言葉ですが、三つの大きな力をもっています。まず、「みんなの心を元気にする力」。気持ちのよいあいさつをすると、された方も、した方も、明るい気持ちになり、元気がわいてきます。次は、「心をつなぐ力」です。自分からあいさつをすると、相手もあいさつを返してくれ、そこから話につながり、心もつながっていきます。そして、「相手を大切にする力」です。相手に挨拶をする・返すというのは、その人を大切に思う心の表れだと思います。本当に素晴らしい言葉だと思います。ぜひ、ご家庭でも、この桜川のまちでも、あいさつの花をたくさん咲かせていただければ幸いです。

6月は、子ども相互のよりよいかかわりを促し、豊かな心を育むとともに、いじめや登校への不安に対する取組を推進する「ふれあい月間」です。みんなで「あいさつ」「ことば」を大切にしながら、「かかわり」を広げ、深めていきたいと思ひます。この他、生活アンケートの実施、スクールカウンセラーによる面接（第5学年全児童対象）、読書週間、移動教室（5・6年生）、平日の学校公開、なかよし班活動、いじめ防止の授業、教職員の研修等も予定しています。保護者の皆様にも、ご心配なことなどございましたら、学校までご相談ください。

体調の崩しやすい時期です。健康には、どうぞご留意ください。今月もどうぞよろしくお願ひします。